

令和 2 年度新任図書館長研修
質 疑 応 答 書

科目名：北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割

講師名：吉田 右子

質 問

- (1) 北ヨーロッパの図書館では飲食自由とのことだが、衛生面や汚破損に対してはどのような対応をしているのか。
- (2) 図書館に漫画やゲームをおくことで、若年層を呼び込むという効果があるとされるが、そうした利用者のうち、どれくらいが他の資料の利用と結び付けられるか、長期にわたる検証データのようなものは存在するのか。
- (3) 購入した本の背をカラフルなテープで補強するのは素晴らしいアイデアだと思うが、日本で行う場合、新刊本の背のデザインを大きく変えることは著作権上問題にならないか。

回 答

(1) 汚破損に関しては、日本と同様、個人の責任で資料への代償を補います。日本と異なる点は現物補償ではない点です。メディアごとに補償金が定まっていて、決められた額を支払います。COVID-19 以降は、衛生面という点で公共図書館における書籍の取り扱いに関する状況はかなり変化しました。国際図書館連盟による COVID-19 に関するガイドライン*が出ていますので、北欧各国でもそうしたガイドラインを参照しつつ、個々の図書館で対応しています。

*「COVID-19 に向かい合う」<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/854/Default.aspx>

(2) 北欧ではコンピュータゲームを、公共図書館が提供するメディアと資料の一部として位置付けています。公共図書館は学習、読書、情報などにかかわるすべてのサービスを包み込む場所であり、そこにはコンピュータゲームも含まれています。また公共図書館がコンピュータゲームを積極的にサービスに取り入れている理由は、子どもたちが平等にメディアを享受できるようにするためです。家庭の経済状況によってゲームを持っている子どもと、持っていない子どもが社会に存在することが、平等を標榜する北欧社会においては問題視され、メディアの不平等を解消するのは公共図書館の最も重要な役割とみなされています。そのため図書館でコンピュータゲームを置かないという選択肢は、ほぼありません。これまで訪問した北欧の公共図書館で、コンピュータゲームを置かないという選択をしたと聞いた図書館は 2 館だけでした。もちろん司書は「図書」メディアを重視していて、熱心に読書振興に取り組んでいます。また結果的にコンピュータゲームが置いてあることで図書館に来るようになり、熱心な読者となる可能性は十分にあり、実際にそのような子どもも多くいます。コンピュータゲームについて、北欧ではその教育効果について研究が進んでいます。特に熱心な取り組みが見られるのはノルウェーとフィンランドです。ノルウェーではゲームを専門とする司書がいて図書館で収集するゲームの選定を担い、ゲ

ームを使ったプログラムを企画しています。フィンランドでは教育現場でのゲームの利用について、国立視聴覚機関（Kansallinen audiovisuaalinen instituutti: K A V I）が中心となって研究を進めています。コンピュータゲームを他の資料の利用と結びつけた調査については、これまで目にしたことはありません。

（３）北欧では図書が出版されると、図書館資料として使われるものは製本を委託された企業にまず送られます。そこでは、一番最初に痛みがちな図書の背をガムテープのような特殊な素材で補強します。また全体をビニールフィルムでコーティングします。背の部分の補強には暖色系のテープが使われ、その上からタイトルや著者名が白文字で印字されます。そのため書架に並ぶのは、デザインは同じで背の色だけが異なるカラフルな図書となります。北欧の図書館に入って書架を目にしたときに統一感が強く感じられるのは、この製本テープのおかげです。また長い冬に心地よく過ごせるよう施設全体のインテリアに暖色系の色彩が多く使われさらに書架の色合いが明るいために、図書館全体が温かい雰囲気を醸し出しています。こうした図書館用資料の加工は出版社（著者）との合意の上です。日本ではそうした仕組みはありませんし、図書は背も含めてトータルにデザインされていますので、補修や合冊製本など特別な理由がない限り、図書の背に何らかの加工をすることはできません。北欧でも最初から長期使用を目的としないペーパーバックなどには、背の補強やビニールコーティング加工は施されていません。加工はハードカバーの資料の寿命を伸ばすための工夫です。というのも北欧ではハードカバーの図書の値段が日本円にして 5000 円を超えることも少なくないからです。ちなみに調べてみたところ、村上春樹氏のノルウェー語版『海辺のカフカ』は、日本円で約 4000 円でした。